

令和5年度

訪問支援を行った先生方へのアンケートの結果

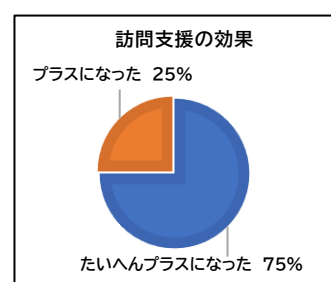
乙訓教育局管内の経験の浅い先生方の困り感や課題を把握し効果的な支援につなげるために、令和5年度に教職員支援アドバイザーが参観、面談した先生方にアンケートを依頼しました。

◇ アンケートの対象

- 令和5年度に教職員支援アドバイザーが支援した先生94人(小学校67人中学校27人)にアンケートをお願いし、そのうち48人から回答をいただきました(回収率51%)。

◇ アンケートの内容

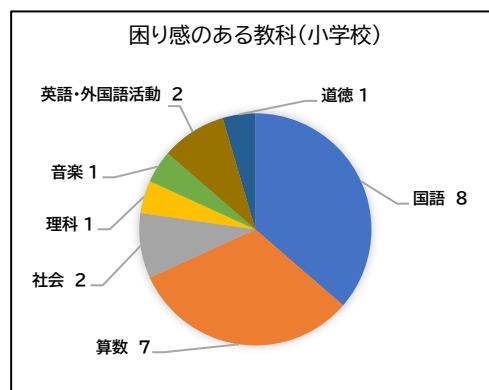
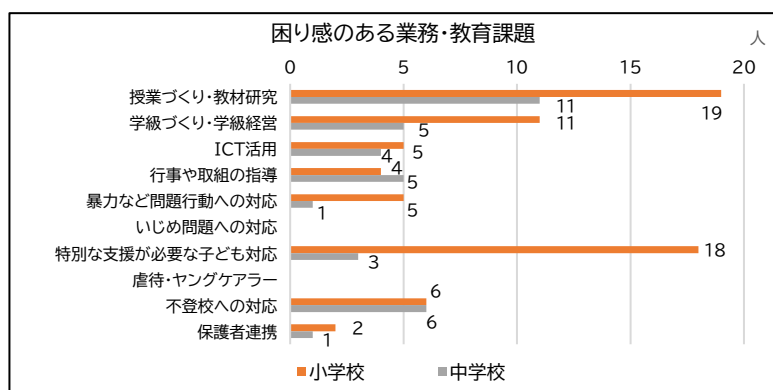
- 困り感を感じている業務・教育課題
- 訪問支援の効果
- その他、アドバイザーへの質問・要望、自身の課題意識や困り感等(記述)



◇ アンケートの結果

(1) 困り感を感じている業務・教育問題

- 小・中とも最多だったのが「授業づくり・教材研究」でした。
- 小学校の教科指導では、国語次いで算数の2教科に困り感を持つ先生が多かったです。



(2) その他、アドバイザーへの要望、意見等(記述による回答・抜粋)

- 助言をいただくたびに授業づくりの新たな改善点に気づくのでありがたいです。今は算数の授業における課題の設定に悩んでいます。子どもたちが自分で発見し、自分で解決する楽しさを感じる授業にしたいです。
- 「手順を視覚的に残す」という助言はたいへん勉強になりました。一方で、視覚情報がたくさんあるとそれが混乱を生む可能性があるのも、その選択が課題になってくるのかな、とも考えました。
- 子どもに対して声掛けや注意をしすぎるのが課題だと思っています。休み時間との切り替えをうまくできるような支援方法について知りたいです。
- 自分自身の成長に繋げることができる良い機会でした。
- 児童の興味を惹く授業をどう工夫すればよいか、難しいと感じつつ日々授業をしています。
- 子どもの実態に合わせた手立てを実行しながらよりよい学級づくりを行っていきたいです。
- 全員参加の授業をするための授業構想についてアドバイスいただきたいです。
- 活動だけをやりっぱなしにする授業にならないようにしたいと思います。

- ・ 授業のアドバイスと子どもたちの様子をお聞かせいただいととてもうれしかったです。
- ・ 本日はありがとうございました。自分自身の「指導の幅」について改めて考えることができました。最初は「中堅なのに…？」と思ったのですが、今回、お話を聞き、来ていただいて良かったと思いました。僕個人としては、次回もお願いしたいです。
- ・ クラスのことを第三者の視点で見てもらい、アドバイスをいただけたいへん励みになりました。特別な支援を要する子どもへの対応の具体的な助言をもらえたらありがたいです。
- ・ 道徳は学級の雰囲気も大切だと感じました。学級経営もがんばっていきたいです。
- ・ 他の学校の工夫なども聞くことができ、たいへん参考になりました。
- ・ 「楽しく考える」を大事に授業づくりをしていますが、場合によっては「活動あって学びなし」になっていないか不安になる時があります。先生方に見に来ていただけることで、「子どもの学びはあったか」「ねらいに沿うことができたか」と振り返る機会になります。ありがとうございました。
- ・ 登校しづりの子どもに対してどこまでフォローして、どこからは自分で決めさせるのかが難しいです。
- ・ 発言や挙手に消極的な子どもたちのつづやきの拾い方、理解度が低い子どもたちへのフォローの方法などで悩んでいます。
- ・ 不登校や登校しづりに対する対応や心構えについて、アドバイザーの先生方の経験からお聞かせいただける機会があるとありがたいです。
- ・ タブレットの活用方法や活動の流れについて学ぶことができました。
- ・ 自分は学級経営を一番の課題と考えています。意図的に褒める機会を作り出し、良い行動の価値づけをすることを意識して取り組んでいます。
- ・ これからは、その授業で一番押さえたいポイントをより意識して取り組みたいです。
- ・ 体育実技において、「できない」が「できる」に変わる手立てを考えたいです。生徒が「成長した」と感じられること、「できた」と喜びを感じることを大切にしたいと思っています。
- ・ 「今日の授業は面白かったですよ」と言っていただけたことがうれしかったです。
- ・ 授業の改善点や休み時間の廊下指導などについて、ご指導いただきたいです。
- ・ リーダーの育成や特別な支援を要する子どもたちが共に学べる授業づくりを課題と考えています。
- ・ 自分では気づかないことに関してアドバイスをいただきありがとうございました。本日の支援を今後の授業づくりで活かしていけるようがんばります。
- ・ 落ち着きがないことで困っていましたが、逆にその雰囲気を生かしてペア交流させる等のアドバイスをいただきました。学級の長所である元気の良さや反応の良さを活かして学級経営に励んでいきます。
- ・ いつも課題提起をしていただけるので次に活かしています。深く追究できるように頑張ります。
- ・ 「落ち着いた授業の先に見えてくる、その子、その子の課題を見出す」という気づきを与えていただきとてもありがたかったです。
- ・ 自分自身に困り感や危機感、問題意識がないと授業改善はできないというお言葉はその通りだと思いました。
- ・ 自分の求めていた授業の原点を考えるきっかけをいただきました。ありがとうございました。

◇ アンケートの結果を受けて…

- ・ 以下の点を検討し、令和6年度の教職員支援アドバイザーの支援につなげたいと考えています。

- ◆ 先生方のニーズに対応した集合研修の在り方
- ◆ 先生方のモチベーションの維持向上に資する支援
- ◆ 特別な支援が必要な子どもへのアプローチ、特別支援学級の授業づくりなど、特別支援教育に係る支援
- ◆ 学級づくり・学級経営に係る効果的な支援
- ◆ 若い先生方を支える主任、先輩教員等中堅教員との連携
- ◆ 動画、インターネット等を活用した支援